

やりがいのあるロータリークラブ 活動を実践しよう!

第2122回例会 令和4年9月26日

本日の例会プログラム 第2123回例会 令和4年10月3日

- ・結婚・誕生セレモニー
- ・米山奨学委員会 卓話 野田一孝委員長
- ・ロータリー情報委員会 大迫三郎委員長

☆例会終了後理事会 13:30~

会長挨拶



皆さんこんにちは。9月8日ロン
ドン橋が落ちました。

鉄の棒じゃ、曲がる、金銀だと盜
まれる、木材だと流されるが、石だ
と大丈夫と言われた橋が70年の時をすこし、落
ちてしまいました。この計画は1960年代には計
画されたということですが、ご逝去からのチャ
ールズ国王の戴冠など速度があまりにも速く、
計画的であり、実際日本の天皇陛下が亡くなられ
たのを昭和天皇しか知らない私としては凄い
なという感想しか持ち得ません。あくまでマス
コミやネット情報でしか持っておりませんが、
幅広く世界中の支持を得ることができていた数
少ない国王の一人であったのではと推測してお
ります。

エリザベスといえば女王の名前を想像してしま
う自分がいます。ご逝去されたエリザベス女
王はエリザベス2世であります。1世もとん
でもなくすごい女王であり、イギリスを黄金時
代に導いた解釈にもよりますが偉大な女王であ
ったとされています。この時代には誰もが知ら
れているシェークスピアもこの時代であり、栄
華を誇っていたスペインの無敵艦隊（よくスペ
イン代表を今でも表現します）をアルマダの海
戦で破ったのもエリザベス1世の時代でありま
した。皆さんがよく知るカクテルのブラッディ
メアリーはこのエリザベス1世の姉であるメア
リー1世がプロテスタントを虐殺したことによ
り来されていると言われております。

さてご逝去されたエリザベス女王は21歳誕生

9月の月間 ロータリーの友月間 基本的教育と識字率向上月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(51) 52名	マークアップ数	0名
本日欠席者数	20名	修正出席率	64.00%
本日出席者数	32名	マークアップされた方	
出席率	62.74%		
ニコニコ BOX	2件 累計 33,000円	募金箱	5,197円 累計 47,169円

日の時

「私の人生が長くても短くても、生涯、公務に我
が身を捧げることを皆さん前で誓います」と
宣言されたそうで、その後、多くの植民地が独
立していく中、それまでの帝国主義と向き合う
時代を過ごされ、その植民地だった多くの国が、
全てではありませんが、英連邦の一員として多
くの国が現在も残っているのがその象徴である
と私は思いまっております。

また今回の件で国連でのスピーチを拝聴する
ことができましたが

「私たちは今なお、国連のかがける理想の達成と
は程遠いところにいます。しかし落胆してはな
りません。世界の人々は国連が努力し続けるこ
とを期待しているのです」というスピーチを残
しております。このスピーチから65年たってお
ります。このスピーチは大変重い言葉だなと感
じられております。

今日もよろしくお願ひいたします

幹事報告

田口幸登幹事



- ・ロータリーの友事務局より、俳句の作
品募集の案内が届いています。詳しく
は事務局まで。
- ・世界ポリオデー2022ポリオ根絶啓
蒙動画素材の提供について依頼が届いており
ます。詳しくは事務局まで。
- ・今年の交換留学生の募集は、地区事務所10月31
日(月)必着になっています。興味のある方は事務
局まで。
- ・2022～2023年度RI第2730地区大会の案内が届

いています。詳しくは来月出席の確認を含め御案内します。

- ・当、宮崎南ロータリークラブでは、感染病(コロナウイルス等)に感染及び濃厚接触認定者は、クラブに自己申告する事により、隔離期間の例会出席扱いとします。(2022~2023年度開地年度に限る)
- ・9月度エコキャップは1973個。累計275028個です。引き続きご協力をお願いします。

ニコニコBOX

田中 寛会員



昨日(9/25)の当ロータリーコンペで、ニアピン賞をいただきました。今後は優勝を目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました。

新会員卓話

笹栗 康会員



笹栗です。初めての卓話なので会社について話します。

昭和61年創業し、当初は病院のナースコールに連動する「ナースベル」を販売していました。

その後、PHSに押されて販売不振になったのと宮崎での仕事と考えて畜産分野への方向転換を行いました。

当初「発情ピタリ」というメス牛の腰に貼り付ける発信機を開発し販売しました。しかし、牛の腰にボンドで取り付けて500kg以上の牛が乗りかかると剥がれて毛も抜けてしまい、農家さんからの「かわいそうだ」との意見で販売を中止しました。

その後、発情の時は行動量も増えるところに着目し、「牛歩」を開発しました。初期の「牛歩」は人間の万歩計と同じ振り子を利用していました。しかし人の力と牛の力の違いで振り子の故障が相次ぎました。そのような経験から改良を続けました。

また、発売当初は事務所にパソコンを設置しデータを集計するようになってましたが、宮崎県は10頭以下の農家さんが多いため小規模様に

格安の機種をと依頼され「牛歩Lite」が出きました。

「牛歩」の特長は発情の見逃し、授精適期の把握、早い治療があげられます。

発情はいつ起きるか分かりません。人が監視できる昼間は問題ないのですが、人がいない夜間に約69%の発情が発生しています。「牛歩」はこの発情も見逃さずに教えてくれます。

発情が起きると約30時間で排卵があり10時間くらいで死んでしまいます。精子はストローと呼ばれる細い管に冷凍保存されています。解凍して約6時間後から活動し始めるので排卵の前に授精する必要があります。

男遺伝子の精子は元気ですが長生きせず、女遺伝子はのんびりで長生きすると言われています。この性質を元に授精する時間をずらせば産み分けが可能となります。

「牛歩」以外に飼料製造販売や牛も180頭飼育しています。次回はそちらの話をさせていただきます。

ありがとうございました。

柳田勝人会員



昭和41年11月25日生 55歳

延岡市天下生まれ。

福祉大学があるところ。

男の4兄弟の3番目、

しっかりとした家族計画で2歳ずつ年が違う。

両親は健在父89歳、母84歳

兄2人は延岡在住

弟と私が宮崎 平成7年5月に結婚、子供2人

二人とも社会人 長男は福岡 長女は宮崎

地元の小学校・中学校を卒業し、今は統廃合で無くなった延岡西高校(1963年~2005年42回生まで)

延岡東高校と統合し、現在は星雲高校(延西の校章の星、東高校の東雲の星雲高校)大学は大分大学。体を動かすことが好きで、小学校3年~6年ソフトボール。中学は卓球部。高校ではボート部(根性なく1年で辞めました)。大学で再度ボート部に入部し4年間続けました。2度ほど留年の危機にさらされましたが、平成元年3月に4年間で卒業。

バブリーの全盛期で就職活動で会社訪問をすると、交通費や食事代がもらえる素晴らしい時

代でした。

最初の勤務地は地元の延岡支店（現延岡営業部）でした。入行式前に自宅に来られた生保会社のおはさんから開きました。昔は情報管理も非常に緩く内部情報が結構漏れていたようです。昼休みには保険のおばちゃんにたちが食堂にたむろしていて、いつもいつも勧誘を受けていました。なかなか断り切れず内容も理解せずにいろんな保原に入っていたようです。

当時延岡支店は50名以上の大所帯でした（現在は38名）がそこに9名も新人が入りました。当時は何とも感じていませんでしたが一度に9名も入れば受入れる側は大変な負担だったと思います。帰りも遅く、入社初日から1時過ぎでした。勘定、現金が一度で合うことは皆無でした。20時に終われば早く終わったと感じる時代でした。女性も22時過ぎに帰ることが多かったと思います。今で言う「ブラック企業」であったと思います。その延岡支店に2年3ヶ月おりまして、宮崎市内の大塚中央支店に転勤しました。開設8年目くらいの支店で、大塚台、生目台などを抱えた支店で大変忙しい店でした。当時は平屋の店舗でした。開設10年も経っていないのに大きな店舗に建替える話が既にあがっていました。隣接地を購入し敷地面積も、建物も当時の倍以上のサイズとなって相変わらず忙しい店です。初めて融資の担当になりました。融資係は係長と私の2名。係長はいつも忙しそうにしているし、私は初めてのことで訳わからんでたくさん失敗もしましたし、お客様にもいろいろ迷惑をかけました。仕事が嫌になって大塚台の団地が見えると気分が悪くなりました。今で言う「ウツ」だったと思いますが、平成3年ごろには、そんな病気は知らず言葉数も少なくなりました。

失敗も多いのでいろんな方（お客様、同僚、上司など）に迷惑をかけるので本気で辞めようと思ったのがこの時期でした。

その時の上司が、元専務の原口係長でした。「今日ご飯食べに行こうか？」と誘われました。私はご飯と言ったら西タチに飲みに行くものと思っていたのですが、大塚中央支店の近くの「平家の郷」でした。ハンバーグを焼いているときに「お前、辞めようと思つちよるじゃろ？」と言われ「みんなが通る道」と諭され、また頑張ろうと思え

るようになりました。「よく気が付いたな」と思いました。

それから、何とかかんとか仕事をし小さいミスは沢山、数えられないくらいしましたが、周りの皆さんに恵まれて楽しく、そうではない局面も何度かありましたが、「NHKのニュースに出ることはない」とか「明日もいつも通り一ヶ葉の海岸から日は昇る」とか訳のわからないことを考えながら、やり過ごしました。

大塚中央支店の後は都城北支店、係長前で仕事もある程度何でもこなせるようになり子供も都城で2人産まれ非常に充実していました。

次は地元延岡の祇園町支店、思い出深いのは北浦町の漁業者を担当しお客さんのところに行って昼間から飲み会になったり、支店長に「飲み会になりました。直帰します」と報告すると「夜の営業もがんばれ！」とあっさり許してくれたりで非常に楽しい毎日でした。その後大淀支店、青葉町支店、鹿児島の取引先に出向。出向先では毎月夜中まで棚卸をしたり、屋久島、大島、沖縄の支店に行ったりと中々楽しい期間でした。企業文化の違いで戸惑うこともありましたが、出向し銀行以外で働いたことは銀行を辞めて、第二の人生のためのいい勉強になったと思います。貴な2年間でした。

その後、都城の年見町支店で初めての支店長、大分支店懐かしい都町で記憶喪失、今でも当時の常連さんと連絡を取って年に2回くらい飲む、2回目の祇園町支店、北浦に着任挨拶「まさか支店長じゃねーじゃロー」「宮銀も人材不足じゃなー」歓迎会をしてもらった。

年末は魚を取りに来いと言われ、有難くいただいている。不義理をせずに良かった。とつくづく思った。

西都支店で西都の方々の西都愛に感動。宮崎の人は西都をそんなに身近に感じていないが西都の方はすごく近い。

橘通支店に令和2年4月に着任、コロナ禍が始まったばかりで全く飲みに行けない。財布には優しかったがお客様との懇親の場が圧倒的に減った。1度少人数での会食1を共にする距離がグンと縮まるので飲み会ができないのは困った。